

原子力市民委員会オンライン企画
「原発ゼロ社会への道」最終回

原発ゼロ社会をどうつくるか

2021年8月30日

原子力市民委員会座長

大島堅一

内容

1. 原発ゼロ社会とは何か

- なぜ、なんのために原発ゼロ社会をつくるのか

2. 原発ゼロ社会をどのように実現するか

- 原発ゼロ政府の展望
- 原発ゼロ政府なき中での展望

3. 市民系シンクタンク（原子力市民委員会等）の課題

- これから強化する活動

原発ゼロ社会とはなにか

原発ゼロ社会とは何か

• 原発ゼロ社会

- 軍事利用、エネルギー利用

いずれも、現実にも、選択肢としても利用しない社会

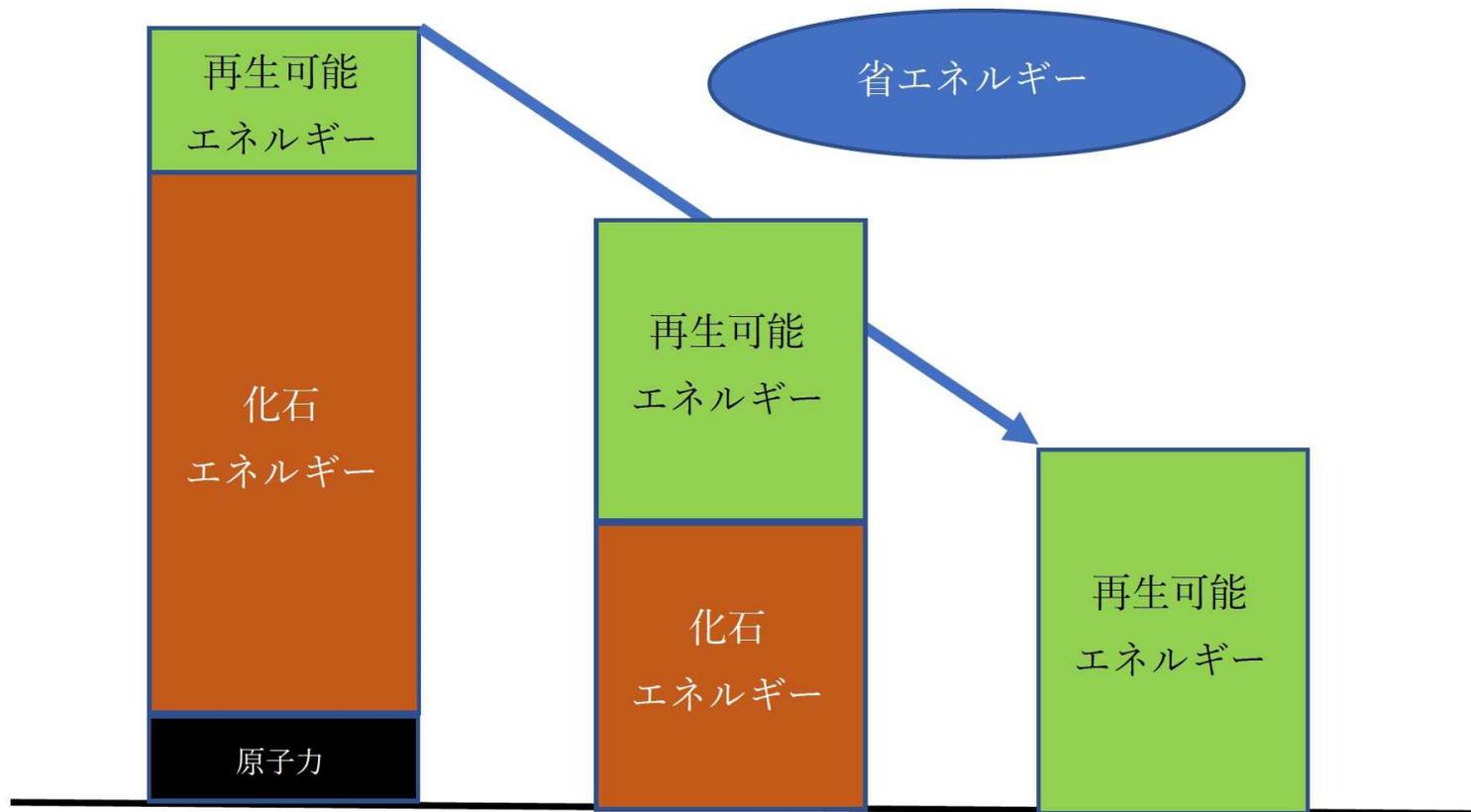
- 倫理的問題

原子力技術の本質：不可逆的破壊、不公正、不正義

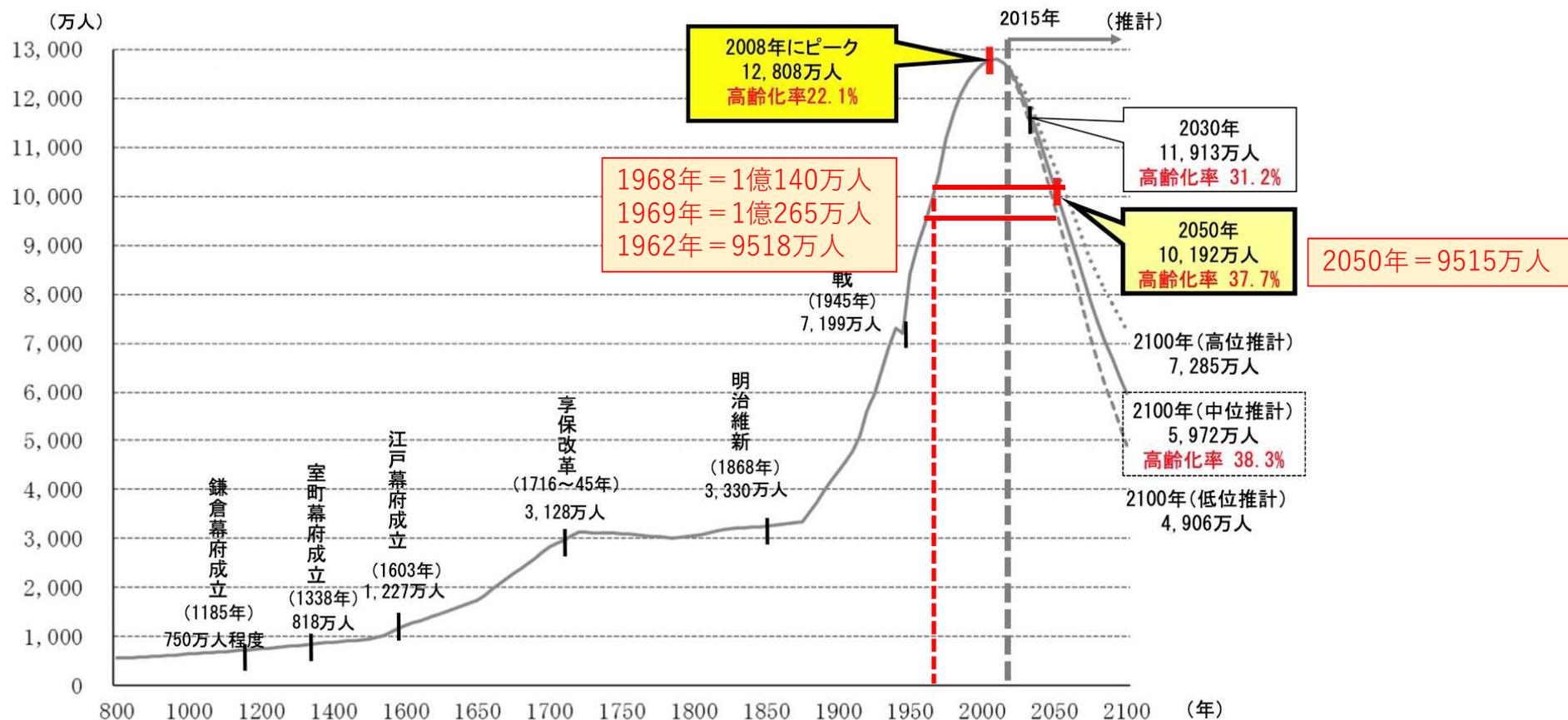
• 何のためか

- 環境破壊、人間破壊（人間の尊厳、生存条件の剥奪）を今後絶対に起こさない社会をつくる。

環境破壊を引き起こさない社会を作る



これからの時代 = 縮退



(出典)1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、1920年からは総務省「国勢調査」。なお、総人口のピーク(2008年)に係る確認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」を基に作成。

出所：国土交通省(2021)「『国土の長期展望』中間とりまとめ 参考資料」p.2

原発ゼロ社会をどのように実現するか

原発の衰退と原発ゼロ社会

1. 原子力発電は大きく衰退

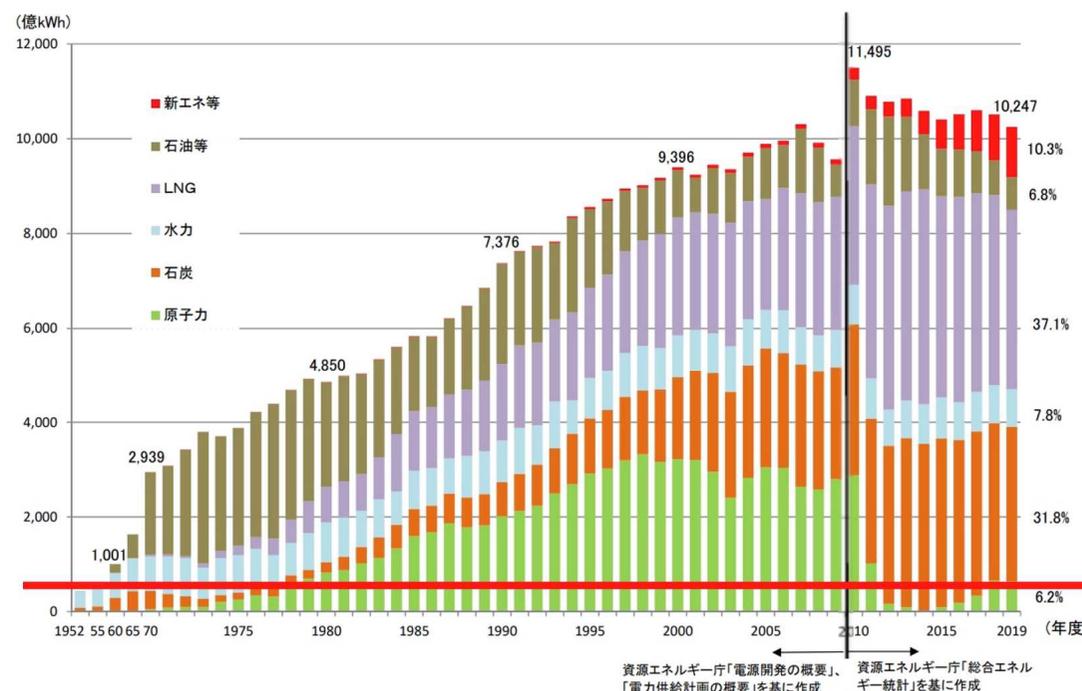
→原発は高コストで不要

2. 衰退したとしても自然に原発ゼロ社会にはならない。

→原発維持・拡大のためのさまざまな政策が最大限投入される。

→現実には実現できず、問題が拡大する。

※立地地域の課題、雇用対策も放置される。



出所：エネルギー白書2021, p.134 (<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2021/pdf/>)

原発ゼロ社会をどのようにつくるか

1. 原発ゼロ政府の樹立の道（＝もっとも合理的で早道）

- 原発ゼロ社会実現のための法制度、機関を整備
- 原発推進のための予算から原発ゼロ社会実現のための予算へ
- 立地地域の自立を真剣に支援、雇用対策を実施 等。

2. 市民の取り組みの積み重ねの道

- 遠回りに見えるが、着実な道でもある。
- 原子力に関する諸問題の解明、政策提言、情報発信。
- 政策当局者を含めた対話を粘り強く継続。

現時点での政治情勢

・与党・政府のエネルギー政策形成

※与党内での調整 → 政府・担当省庁

※与党内にも変化

・国会

- ・ 原発ゼロ基本法案が2018年3月に野党により提出されるも審議されずに店ざらし。

・ 国会内の経済産業委員会

- ・ ほとんどが原発ゼロ反対。

	自民	公明	立憲	国民	共産	維新	碧水	無	合計
衆議院	25	3	8	1	1	1		1	40
参議院	9	3	3	2	1	1	1		21

市民系シンクタンク (原子力市民委員会など) の課題

原子力市民委員会の活動

• 設立

- 2013年4月15日

• 目的

- 脱原発社会の構築のために必要な情報収集、分析および政策提言
～原発ゼロ社会のための**市民系シンクタンク**としての試みであった。

• 活動

- 脱原発社会構築に向けた議論の「場」の創設
- 「脱原子力政策大綱」の策定および、脱原発社会構築への緊急課題への随時提言

原子力市民委員会の情報収集、分析 および政策提言の課題

1. 東京電力福島第一原発事故の被災地対策・被災者支援に関すること
2. 使用済核燃料、核廃棄物の管理・処分に関すること
3. 原発ゼロ社会構築への具体的な行程に関すること
4. 脱原発を前提とした原子力規制に関すること

2021年時点での評価

- 『原発ゼロ社会への道』、特別レポート、声明、ブログ記事、オンライン企画などで、貢献しえたと評価しうる。
- 政策形成、世論形成に一定のインパクトを与えてきた。

市民系シンクタンクの強み、可能性と課題

• 強み

- 研究者・専門家と現場で取り組みを進める市民とが直接つながっている。
→ 調査・研究、支援、対話の面で非常に有効。これは政府や企業が苦手としているところ。

• 可能性と課題

- 市民社会（活動への参加、支援が増えれば社会は大きく変わりうる）
 - ※例えば環境NGOの会員数は、他国に比べて2～4桁異なる。（波及力、資金力→活動領域に直結）
(例：シエラクラブ380万人、韓国環境運動連合約8万人)
 - ※ 原子力市民委員会は会員制はとっていない。
- 国や自治体とのつながり。

市民系シンクタンクの課題

1. 人とのつながり、仲間を広げる。公論形成を行う。
2. 専門家としての分析や政策提言の質を向上する
3. 機動的に課題にとりくむ力量を身につける
4. 国内的、国際的発信力を向上させる。

多くの市民の参加で
達成できる。

※原子力市民委員会はその一つの試み

原子力市民委員会の新しい取り組み

オンライン企画をライブで

Youtubeで録画（動画）で発信

原子力市民委員会

Citizens' Commi...

ホーム 原子力市民委員会について 報告書・提言 メンバー 活動報告 お問合せ ご支援のお願い ブログ

「原発ゼロ社会への道」2021年版を作成中です
ご意見・コメントなど募集中

オンライン企画の録画を視聴する (原子力市民委員会YouTubeチャンネルへ)

オンライン企画に参加する

ウェブサイトから意見・コメントを送る

YouTube JP 検索

原子力市民委員会- CCNE
チャンネル登録者数 335人

登録済み

ホーム 動画 再生リスト チャンネル フリートーク 概要

アップロード済み すべて再生 並び替え

「原発ゼロ社会への道」 第7回 新しいエネルギー基本計画はどこに向かうのか？ 大島 堅一 竹村 59:10	「原発ゼロ社会への道」 第6回 事故後の放射能汚染にきちんと対処できたのか？ 茅野 恒秀 石井 1:02:20	福島県の世論は？ 賛成 31% 反対 57% 2:02:24	環境省による除染土「再生利用」の「理解醸成活動」についての記者会見 49:24
第7回 新しいエネルギー基本計画はどこに向かうのか... 237 回視聴・1 週間前	第6回 事故後の放射能汚染にきちんと対処できたのか... 457 回視聴・3 週間前	環境と公害セミナー「原子力発電の後始末」 (2/26) 111 回視聴・4 週間前	【記者会見】環境省の除染土「再生利用」の「理解醸成活... 624 回視聴・4 週間前
「原発ゼロ社会への道」 第5回 「核のごみ」の問題はどうなっているのか？ 伴 英幸 細川 1:01:40	「原発ゼロ社会への道」 第4回 原発事故の健康影響はどうなっているのか？ 濱阿 豊 崎山 1:02:32	福島第一原発の処理汚染水海洋放出問題 緊急声明の発表・記者会見 1:44:23	「原発ゼロ社会への道」 第3回 原発事故の後始末、なぜ焦ってはいけないのか？ 大島 堅一 筒井 慎郎 川 1:00:34
第5回 「核のごみ」の問題はどうなっているのか？「原... 274 回視聴・1 か月前	第4回 原発事故の健康影響はどうなっているのか？「... 363 回視聴・1 か月前	【記者会見】福島第一原発の処理汚染水の海洋放出問... 3917 回視聴・2 か月前	第3回 原発事故の後始末、なぜ焦ってはいけないのか... 1111 回視聴・2 か月前
「原発ゼロ社会への道」 第2回 原発事故の被害はなぜ見えにくくなったのか？ 清水 奈名子 除本 1:00:08	「原発ゼロ社会への道」 第1回 無責任の構造 大島 堅一 満田 夏花 茅 1:00:53	デブリ取り出しを前提とした廃炉ロードマップの信頼性を追及する 原子力市民委員会 (CCNE) 連続ウェビナー 第3回 2020/11/12 福島第一の「後始末」に必要なマネジメント体制はどうあるべきか？ 2:19:01	デブリ取り出しを前提とした廃炉ロードマップの信頼性を追及する 原子力市民委員会 (CCNE) 連続ウェビナー 第2回 2020/10/26 福島第一のデブリ取り出しは断念せよ——「長期遮蔽管理」の提案 2:04:38
第2回 原発事故の被害はなぜ見えにくくなったのか... 20201112 福島第一の「後始	第1回 無責任の構造「原発 20201026 福島第一の「後始		